

# ライブラリー・ 日本人のフランス体験

全4期 全21巻

監修 和田博文  
東京女子大学教授

フランスのなかの日本人社会、日本のなかの  
フランス文化を多彩な視点から把握できる、  
明治・大正・昭和戦前における日本人の  
フランス体験研究の基礎資料集



## ライブラリー・ 日本人のフランス体験

全4期 全21巻 監修 和田博文 (東京女子大学)



### 第1期 全5巻

B5判上製・2,832頁 揃定価210,000円(本体200,000円+税)※分売不可 ISBN978-4-7601-3608-7

- ◆第1巻 パリの日本語新聞—『巴里週報』I 石黒敬章・田中敦子・和田博文 編
- ◆第2巻 パリの日本語新聞—『巴里週報』II 石黒敬章・田中敦子・和田博文 編
- ◆第3巻 パリへの憧憬と回想—『あみ・ど・ぱり』I 鈴木貴宇(東邦大学) 編
- ◆第4巻 パリへの憧憬と回想—『あみ・ど・ぱり』II 宮内淳子(帝塚山学院大学) 編
- ◆第5巻 パリへの憧憬と回想—『あみ・ど・ぱり』III 西村将洋(西南学院大学) 編

### 第2期 全5巻

A5判上製・4,076頁 揃定価168,000円(本体160,000円+税)※分売不可 ISBN978-4-7601-3630-8

- ◆第6巻 石黒敬七—日本人社会の韌帯 石黒敬章・杉山悦子(世田谷美術館) 編
- ◆第7巻 松尾邦之助—長期滞在者の異文化理解 土屋忍(武蔵野大学) 編
- ◆第8巻 小松清—フランス知識人との交流 花崎育代(立命館大学) 編
- ◆第9巻 ジャポニスムと日仏文化交流誌 和田桂子(清泉女子大学) 編
- ◆第10巻 歓楽と裏面のパリ 吉田司雄(工学院大学) 編

### 第3期 全5巻

A5判上製・4,436頁 揃定価168,000円(本体160,000円+税)※分売不可 ISBN978-4-7601-3636-0

- ◆第11巻 美術家のフランス体験I—第一次世界大戦終結まで 貝塚健(ブリヂストン美術館) 編
- ◆第12巻 美術家のフランス体験II—黄金の1920年代 林洋子(文化庁) 編
- ◆第13巻 美術家のフランス体験III—1930年代と第二次世界大戦 滝沢恭司(町田国際版画美術館) 編
- ◆第14巻 音楽のなかのパリ 米村みゆき(専修大学) 編
- ◆第15巻 映画のなかのパリ 岡田秀則(東京国立近代美術館フィルムセンター) 編

### 第4期 全6巻

A5判上製・4,938頁 揃定価168,000円(本体160,000円+税)※分売不可 ISBN978-4-7601-3642-1

- ◆第16巻 レヴューのなかのパリ 太田鈴子(昭和女子大学) 編
- ◆第17巻 グルメのなかのパリ 和田博文(東京女子大学) 編
- ◆第18巻 文学者のフランス体験I—～1929 山崎真紀子(日本大学) 編
- ◆第19巻 文学者のフランス体験II—1930～1945 石田仁志(東洋大学) 編
- ◆第20巻 森三千代—フランスへの視線、アジアへの視線 朝比奈美知子(東洋大学) 編
- ◆第21巻 詩人のフランス体験 小関和弘(和光大学) 編

お奨めします

近代文学、美術、音楽、映画、演劇、社会、風俗、メディア、比較文化史などの  
研究者・研究機関、大学図書館、公共図書館

発行

柏書房

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-15-13  
Tel 03-3830-1891 Fax 03-3830-5337  
URL <http://www.kashiwashobo.co.jp>  
E-mail [eigyo@kashiwashobo.co.jp](mailto:eigyo@kashiwashobo.co.jp)

取扱店

文学者、詩人、小説家、哲学者、画家、映画監督、音楽家らの、フランスにおける動向と帰国後の活動などの全体性が把握できる最良のライブラリー

本書の特長  
 ●一九四五年以前におけるフランスでの長期滞在者、短期滞在者、旅行者らの現地での記録・記憶を映し出すさまざまな文献資料を収録。  
 ●国内にはほとんど残存しないガリ版刷り新聞『パリ週報』を、石黒敬章氏所蔵分からすべて翻刻。  
 ●各巻には『あみ・ど・ぱり』などの稀覯雑誌や、手に入りにくい稀覯本を中心に収録。  
 ●各巻末に、編者によるエッセイ・解題・関連年表・主要参考文献を収録。

全4期全21巻の構成

第2期 全5巻

第1期 全5巻

第1巻 パリの日本語新聞

◆『パリ週報』I 石黒敬章・田中敦子・和田博文編  
 ◆『パリの日本人資料』◆エッセイ◆解題

第2巻 パリの日本語新聞

◆『パリ週報』II 石黒敬章・田中敦子・和田博文編  
 ◆外交史料館所蔵資料  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表

第3巻 パリへの憧憬と回想

◆『あみ・ど・ぱり』I 鈴木貴宇編  
 ◆関連資料  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表(人物)◆主要参考文献

第4巻 パリへの憧憬と回想

◆『あみ・ど・ぱり』II 宮内淳子編  
 ◆関連資料  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表(都市文化)◆主要参考文献

第5巻 パリへの憧憬と回想

◆『あみ・ど・ぱり』III 西村将洋編  
 ◆関連資料  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表(戦争・世界情勢)◆主要参考文献

第3期 全5巻

第11巻 美術家のフランス体験I

◆第一次世界大戦終結まで 貝塚健編  
 ◆辛洗生記『巴里之美術学生』(画報社、一九〇三)  
 ◆橋本邦助『巴里絵日記』(博文館、一九二二)  
 ◆正宗得三郎『画家と巴里』(日本美術学院、一九一七)  
 ◆雑誌掲載作品  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表◆主要参考文献

第12巻 美術家のフランス体験II

◆黄金の一九二〇年代 林洋子編  
 ◆黒田重太郎『芸術環境 憧憬の地』(日本美術学院、一九二〇)  
 ◆石井柏亭『滯欧手記』(中央美術社、一九二五)  
 ◆『アトリエ』特輯『巴里を語る』(一九三〇)  
 ◆雑誌掲載作品  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表◆主要参考文献

第13巻 美術家のフランス体験III

◆一九三〇年代と第二次世界大戦 滝沢恭司編  
 ◆名賀京助『さ・せ・巴里』(一元社、一九三三)  
 ◆中村恒夫『巴里画壇の全貌』(宗文堂、一九三四)  
 ◆柳亮『巴里すうぶに在る』(昭森社、一九三六)  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表◆主要参考文献

第14巻 音楽のなかのパリ

◆米村みゆき編  
 ◆佐藤美子『巴里セレナード』第一書房、一九三(四)  
 ◆川添利基編『CHANSONS DE PARIS』(日本蓄音器商会、一九三八)  
 ◆川添利基編『CHANSONS DE PARIS』(日本蓄音器商会、一九四〇)  
 ◆牧野人『エッフェル塔の下にて』(愛垂書房、一九四二)  
 ◆雑誌掲載作品  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表◆主要参考文献

第15巻 映画のなかのパリ

◆岡田秀則編  
 ◆『映画評論 仏蘭西映画研究』(一九三二)  
 ◆『シナリオ 大いなる幻影 舞踏会の手帖』望郷  
 ◆(松永武夫・姫田嘉男訳、一九三八)  
 ◆楽譜『モンパ』恋の巴里っ子(一九三二)  
 ◆WEEKLY『二〇一』新宿映画劇場、一九四二  
 ◆雑誌掲載作品  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表◆主要参考文献

第2期 全5巻

第6巻 石黒敬七

◆日本人社会の鞆帯 石黒敬章・杉山悦子編  
 ◆『蜜の市』(岡倉書房、一九三五)  
 ◆『巴里雀』(雄風館書房、一九三六)  
 ◆『パリの日本人資料』◆エッセイ◆解題◆関連年表◆主要参考文献

第7巻 松尾邦之助

◆長期滞在者の異文化理解 土屋忍編  
 ◆『巴里』(新時代社、一九二九)  
 ◆『巴里素描』(岡倉書房、一九三四)  
 ◆『DAMES D'AMOUR』(一九二九)  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表◆主要参考文献

第8巻 小松清

◆フランス知識人との交流 花崎育代編  
 ◆『沈黙の戦士』(改造社、一九四〇)  
 ◆『フランスより還る』(育成社、一九四二)  
 ◆雑誌掲載作品  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表◆主要参考文献

第9巻 ジャポニスムと日仏文化交流誌

◆和田桂子編  
 ◆巖谷小波『巴里の別天地』(大日本大使館装飾記)三越呉服店、一九〇八  
 ◆KKUO YAMATA『SHIZOUKA』(一九一九)  
 ◆STEINILBER-OBERLIN/HIDETAKE IWAMURA  
 ◆『CHANSONS DES GEISHAS』(一九二六)  
 ◆KUNI MATSUO/STEINILBER-OBERLIN  
 ◆『HAKAI DE BASHO ET DE SES DISCIPLES』(一九二六)  
 ◆『FRANCE-JAPON』掲載作品  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表◆主要参考文献

第10巻 歓楽と裏面のパリ

◆吉田司雄編  
 ◆長田秋涛『世界の魔公園』(如山堂書店、一九〇四)  
 ◆酒井潔『巴里上海歓楽郷案内』(竹酔書房、一九三〇)  
 ◆鈴木秀三郎『エロ・グロ・巴里』(平凡社、一九三〇)  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表◆主要参考文献

第4期 全6巻

第16巻 レヴューのなかのパリ

◆太田鈴子編  
 ◆岩田豊雄『脚のある巴里風景』(白水社、一九三二)  
 ◆『FOLIES BERGERE PROGRAMME』(一九三三)  
 ◆『宝塚少女歌劇脚本集』(三十八号)一九三(三)  
 ◆『松竹少女歌劇脚本集』(巴里・モンテカルロ号)一九三(二)  
 ◆楽譜『ローズ・パリ』(一九三二)、『ラ・ロマンス』(一九三六)  
 ◆『歌劇』(宝塚)、『楽劇』(松竹)、『レヴュー』時代掲載パリ関係記事  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表◆主要参考文献

第17巻 グルメのなかのパリ

◆和田博文編  
 ◆大平茂『家庭向きフランス料理』(婦人之友社、一九二九)  
 ◆門倉国輝『喫茶とケーキ通』(四六書院、一九三二)  
 ◆『カフェエ夜話』創刊号(一九三三)、『カフェエ夜話』第三号(一九三三)  
 ◆雑誌掲載作品  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表◆主要参考文献

第18巻 文学者のフランス体験I

◆山崎眞紀子編  
 ◆吉江喬松『仏蘭西印象記』(精華書院、一九二二)  
 ◆岡田三郎『巴里 叛逆者の告白』(新潮社、一九二四)  
 ◆雑誌掲載作品  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表◆主要参考文献

第19巻 文学者のフランス体験II

◆石田仁志編  
 ◆一九三〇～一九四五  
 ◆小牧近江『異国の戦争』(日本評論社、一九三〇)  
 ◆木村毅『巴里情痴伝』(千倉書房、一九三二)  
 ◆九鬼周造『巴里心景』(甲鳥書林、一九三九)  
 ◆雑誌掲載作品  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表◆主要参考文献

第20巻 森三千代

◆朝比奈美知子編  
 ◆フランスへの視線、アジアへの視線  
 ◆『巴里の宿』(砂子屋書房、一九四〇)  
 ◆『をんな旅』(富士出版社、一九四二)  
 ◆『PAR LES CHEMINS DU MONDE』(一九三二)  
 ◆『POESIES INDOCHINOISES』(一九四二)  
 ◆雑誌掲載作品  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表◆主要参考文献

第21巻 詩人のフランス体験

◆小関和弘編  
 ◆柳沢健『巴里を語る』(中央公論社、一九二九)  
 ◆深尾須磨子『マダムXと快走艇』(千倉書房、一九三三)  
 ◆雑誌掲載作品  
 ◆エッセイ◆解題◆関連年表◆主要参考文献

